

環境保全と社会貢献

ANAグループは、社会とともに歩み続ける企業として、環境保全と社会貢献を経営の最重要事項の一つとして位置付け、活動を続けています。

環境保全

ANAグループエコロジープランを推進

ANAグループでは、2008年3月期を最終年度とする5ヶ年計画「ANAグループエコロジープラン」を策定し、環境保全への取組みを進めています。

主な内容として、①ANAグループが一体となって環境経営を推進する②航空機から排出される二酸化炭素(CO₂)の削減目標を定期航空協会で定めた業界目標に2%上乘せし、また達成を3年前倒して「2008年3月期における単位生産量(提供座席キロ)当たりのCO₂排出量を、1991年3月期比で12%削減する」③排出物の削減とリサイクルの促進を図り、将来はゼロエミッションを目指す④廃棄物などの数値目標を設定する⑤環境に関する社会貢献を実行する—を掲げています。

世界初の炭素繊維製の座席クッションを装備

ANAでは長年、共同研究してきた炭素繊維製の座席クッションの実用化に成功し、従来のウレタン製の素材では難しかった、100%リサイクルが可能となりました。2003年7月から実際に機体に装着して飛行しています。軽量で耐火性に優れ有害ガスも発生しないという特徴から、地下鉄や宇宙分野からの引き合いも来ています。



環境経営格付で高い評価

ANAグループは、環境経営学会(環境経営格付機構)が実施している「環境経営(CSRと同義)格付」で、国内の大手企業75社の中からベスト11社のうちの1社に選ばれ、表彰されました。

社会貢献

アジア各国の人づくり支援

(財)岡崎嘉平太国際奨学財団は、第2代社長の岡崎嘉平太氏の遺志に基づき、アジア各国の人づくりを支援することを目的に1990年3月に設立され、活動は15年目を迎えました。



同財団は、各国の大学卒業生の中から選考の上、日本に招聘して大学院での研究活動を支援しています。現在は7ヶ国11名が日本に留学中です。

48年目を迎えたすずらん行事

「すこしでも入院している患者さんにとって励みになれば…」ANAは1956年以来、全国各地の約50ヶ所の病院・施設にすずらんを届けています。すずらんの花言葉は「幸せの再来」。「幸せ」の花がしおれることがないように、ANA

グループ社員が手づくりで「押し花」にして差し上げました。

